

4
月号

2022
April

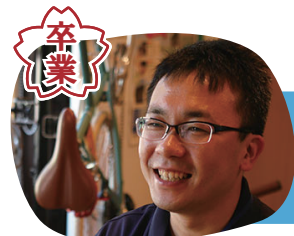


月刊 四万十町

地域おこし協力隊だより

Community-Reactivating Cooperator Squad

協力隊の色とりどりの活動をお伝えします！



窪田 純一
Junichi Kubota

大正地域振興局 道の駅運営サポート

終わりに始まり

あ つという間の3年間でした。道の駅担当の活動は、まずコロナウィルス感染症対策の取り組みとして、GoToトラベル実店舗導入、高知家あんしん会食推進認証などを行いました。また、その他にテイクアウト向けの商品開発や価格設定の見直しも併せて行いました。

活動を行うなかで「せっかく良いものがあるけど、売り出し方を変えればもっとよくなるんじゃないか?」「そもそも道の駅四万十大正はどんな人が立ち寄る傾向なのか?そのお客様に対して購入につながる流れづくりができていますか?」という思いがありました。運営視点で考えると、目線から見ると「初めて来



道の駅にて検討会



予土線土佐大正駅で販売

た場所でも何に目が付くか」が大事だと個人的には思います。そのため、とにかく看板・掲示物には力を入れました。

その結果、来場者増加と黒字運営につながりました。土台は少しずつ出来上がってきたと思いますので、今後もより良い道の駅となれと思います。

5月からは下津井に定住し、色々な取り組み（地域のお手伝い等）を行っていくよう頑張ります。下津井集落は人数こそ少ないですが、確実に宝が存在しています。その宝を活かすために、日々頭を捻り続けていきます。

今後下津井集落に訪れる人が「いい場所だな」と感じてもらえるように頑張りたいと思います!

窪川（本庁） 四万十町の魅力発信業務

3年間ありがとうございました

国廣 亜紀

Aki Kunihiro
(旧姓: 吉岡)



3 月末をもって協力隊任期が満了となり、卒業を迎えます。3年あれば色々できると意気込んでいましたが、過ぎると本当にあっという間の3年間でした。

1年目は企画課の情報発信の仕事に携わらせていただきながら、食のイベントを開催したり、四万夢多でよさこいを踊ったり、各所で開催されるお祭りや催しには積極的に参加して地域と人との繋がりを広げました。同時に協力隊として何をするべきか一番悩んだ時期でもあり、地域で頑張る人を応援する活動としてシマコンを始めたのもこの頃です。たくさんの方の支えや協力があったからこそ今年度まで継続することができました。



協力隊3人で頑張った4+（よんぷら）

3年目にチャレンジショップが始まってからは怒涛の1年となり、ふんわりと思い描いていた飲食店経営のやりがいと現実をしつかり受け止められる良い経験となりました。

振り返るとこの3年間は、自分のやりたいことの先にあるものが何なのか、じっくり向き合えた貴重な時間でした。正直、やり残したことや力不足でできなかったこともたくさんありますが、次に活かせるところを自分の糧として前に進みたいと思います。

これからも引き続き町内に定住し、観光振興のお仕事をお手伝いさせてもらいながら、カレー作りや、デザインの活動も続けていく予定です。これからもどうぞよろしく願います。



昨年入籍しました



佐藤 直人
Naoto Sato

📍 十和地域振興局 📄 四万十の風土を活かした農業の展開

耕作放棄地と栗

菜

花の収穫が終わり、黄色い綺麗な花が咲いたのも束の間。あつという間に暖かくなり、外仕事では半袖でも汗ばむような季節になりました。

さて現在は今年度の作物を植える準備の為、毎日のように畑に出ており、改めて四万十町の豊かな自然の中での作業は気持ち良いと感じています。

その中で使われていない田畑が点在しているのをよく見かけます。これは耕作放棄地または遊休農地と呼ばれています。もったいないけどなかなか手をつけられない状況のなか、現在お世話になっている「株式会社しまんと流域野菜」と「株式会社四万十ドラマ」が協力して、「四万十地栗植樹プロ



関係者との集合写真



栗を植えている風景

ジェクト」が始動しました。このプロジェクトは、『耕作放棄地・遊休農地』を有効活用し、特産品である栗を植える取り組みです。3月に私もこの取り組みに参加しました。約20名の関係者が集まり、栗の苗木200本を植え付けました。初めての作業でとても勉強になりましたし、何より耕作放棄地を有効活用出来たことが良かったと感じます。また、地域の方々と一緒に作業する事で親睦を図れた良い機会となりました。ここで出来た栗を食べられるのは3～5年後になりますが、きっと美味しいはず。立派な大きな栗が出来るのを楽しみに、大切に育てたいと思います。



四万十町の ココがスキ！

みんなのお気に入りをご紹介します！



下津井のホタル

下津井からボートを下道に走らせ20分。ウォーキングトレイル中間の休憩所付近に6月辺りになるとホタルが飛び始めます。その日の天候や状態により見え方が変わります。運がよければ・・・？（窪田 純一）



四万十町の食材

新鮮でおいしい食材が身近にあふれていることがあたりまえな四万十町。米も肉も野菜も、全て作った人の顔が分かる距離で手に入る素晴らしいは、ここならではの楽しみです。（国廣 亜紀）



四万十町緑林公園

休日は家族3人で訪れ、ゴーカートや遊具もあるのでクタクタになるまで子供と遊んでいます。自然豊かな公園で心も安らぐお気に入りの場所です。（佐藤 直人）

編集後記

4月になり春らしい日が増えてきましたね。町内でも桜が咲き始め、満開を迎える日も近そうです。お花見やお出かけなど、楽しい予定を立てている方も多いのではないのでしょうか。

さて、4月から新たに5人の協力隊が着任しました。来月以降、新たな隊員のご紹介もしていきますのでどうぞお楽しみに！そして今月末で私含め2名が卒業となりました。5月からはフレッシュな隊員がこの紙面を担当する予定です。今後も協力隊だよりをよろしく願いいたします。（編集：国廣 亜紀）



四万十町地域おこし協力隊の活動は
ホームページ、SNSにて発信中！

協力隊公式HP



窪川

Facebook



大正



十和

Instagram



四万十町では現在22名の協力隊が活躍しています。

協力隊へのご連絡はこちらまで

四万十町役場 にぎわい創出課

四万十町 琴平町16番17号（西庁舎2F）

Mail: 103050@town.shimanto.lg.jp Tel: 0880-22-3281